㊧伊予万歳を披露する大間ありあけ会　㊨開会行事の様子　㊦自身の経験を踏まえながら講演を行う蓮池さん

差別のない社会を目指して
2016 明るい人権の町づくり大会

「2016 明るい人権の町づくり大会」は 5 月 14 日、文化センターで行われ、約 650 人が参加しました。

開会行事では、大間ありあけ会の皆さんが伊予万歳を披露。観客席にも飛び出しての演技で観客を喜ばせ、大会に花を添えました。

記念講演では、新潟産業大学准教授の蓮池薫さんが「夢と絆」と題し、拉致問題の早期解決を訴えました。蓮池さんは、拉致された状況や拉致後の生活を赤裸々に語り、選択の自由もなく、家族との関係が絶たれた状況で「夢と家族の絆が奪われた」と告白。「自分だけでなく、子どもが日本に戻ってきた日が『夢が持てるようになった日』『家族の絆を取り戻せた日』になった」と話しました。そして、日本へ帰国した人もいる中で、未だ帰国できていない皆さんの精神面の負担を憂い、早期解決に 1 人でも多くの協力を訴えました。

会場には、人権啓発ポスターなども展示され、来場者は大会を通じて人権への意識を高めていました。

風水害に備えて訓練
松前町消防団・自主防災組織合同水防工法訓練

「平成 28 年松前町消防団・自主防災組織合同水防工法訓練」は 5 月 15 日、徳丸の二輪車公園西にある重信川左岸堤防で行われ、消防団、自主防災組織や松前消防署など約 450 人が参加しました。

毎年、台風シーズンを迎えるこの時期に、風水害による災害を最小限に食い止めるため行われている同訓練。最初に、水防工法の基本となるロープ結索訓練を行いました。消防団などの指導を受けながら、ロープワークを実演した参加者たち。「去年はスムーズにできていたのにな」と話して繰り返し実演する場面も見られ、反復して技術を習得する大切さを再認識していました。次に、土のうを作り、それらを積み重ねてブルーシートで覆うことで、急速な増水による浸水を防ぐ工法を実演。杭が打てない住宅地での、浸水対策を実演していました。

訓練に参加した北川原自主防災組織の三好勝志会長は「ロープ結索は簡単な結び方ですが、1 年経つと忘れてしまいます。地域の活動でも、今日学んだことを伝えていきたい」と話し、自分たちの町は自分たちで守るという決意を新たにしていました。

1_ ロープワーク。作業は「迅速・簡単・確実」が求められる　2、3_ 土のうを作成。消防団と自主防災組織が協力　4、5_ ブルーシートの上に土のうを重ね、浸水対策

㊧ショーケースに並んだソラマメ　㊨多くの人でにぎわう会場　㊦「ソラマメいかがですか」　旬の味を PR

町の特産「ソラマメ」を PR
春のまっさき　もぎたてフェア

町の特産品を販売する「恵み、めぐるまち、まさき。 ～春のまっさきもぎたてフェア～」は 5 月 12 日から 15 日までの 4 日間、東京都の香川・愛媛せとうち旬彩館で行われました。

この物産展は、町の特産を全国の人に PR しようと開催しているもので、旬彩館では初開催となります。さらに、この時期が最盛期となる旬のソラマメを、物産展では初めて販売しました。

物産展の初日には、岡本町長がトップセールスを行ったほか、ソラマメを栽培する生産者の皆さんも駆けつけて接客し、町のもぎたての特産を存分に PR しました。

訪れた買い物客は、鮮やかな緑色のソラマメがずらりと並んだショーケースに足をとめ、旬の味を買い求めていました。ソラマメ以外にも、本町が全国でも有数の加工生産量を誇る小魚珍味も販売され、4 日間とも多くの人でにぎわいました。

おじいちゃんと健やかな成長を願う
白鶴保育所「こいのぼり交流会」

白鶴保育所は 5 月 9 日、大間、恵久美、上高柳の老人会のおじいちゃんを招き、「こいのぼり交流会」を行いました。

交流会では、最初にこいのぼりやかぶとを作成。子どもたちとおじいちゃんが協力して色とりどりのものを完成させました。その後、ゲームをして交流を深めるとともに、端午の節句についての話を聞いて、みんなで健やかな成長を願っていました。

豪快なマグロの解体ショー
松前港祭り

松前町漁業協同組合青年・女性部主催の「松前港祭り」は 5 月 3 日、瀧姫神社周辺で開催されました。

祭りでは、鮮魚の販売、マグロの解体ショーや魚のつかみ取りなどを実施。マグロの解体ショーでは、目の前で大きなマグロが豪快に解体される様子に、多くの人がひきつけられていました。途中、小雨が降る中での開催となりましたが、大勢の家族連れでにぎわいました。

また、会場では 4 月に発生した熊本地震の被災地支援のため募金を実施。募金は町の義援金に寄付されました。

熊本地震の被災者を支援したい

上高柳地区が義援金へ寄付

上高柳地区（仙波賢藏区長）は4月28日、「町の熊本地震義援金」へ寄付を行いました。このお金は、同地区の資源ごみ回収で集めた資金の一部です。仙波区長は「少しでも被災地支援のお役に立てれば」と話していました。

役場、文化センター、松前公園、東・西・北公民館に募金箱を置いています。集まった義援金は被災地へお届けします。皆さんの温かいご支援をお待ちしています。 問総務課広報情報係 ☎985-4132

区長が大分県で研修

平成28年度統括広報委員視察研修

各地区の区長で構成する統括広報委員会は4月14、15の両日、大分県豊後高田市の「昭和のまち・昭和ロマン蔵」などで研修を行いました。

研修では、昭和30年代の町並みを再現した町おこしで、衰退した町に活気を取り戻した「豊後高田市中心部の商店街」を見学し、講話を聞きました。

研修を通じ、参加者は、地域での活動に生かそうと意識を高めていました。

新鮮な魚の贈り物に大喜び

遊漁船組合が福祉施設へ魚を贈呈

松前遊漁船組合（三好一榮代表）は、瀬戸内海の新鮮な海の幸を満喫してもらおうと5月14日、和楽園と鶴寿荘にハマチ、イカ、ホゴ、アジなどを贈りました。

魚は、当日の朝に組合員が伊予灘周辺で釣ったばかりのものです。入所者の皆さんは、新鮮な魚を見てにっこり。刺し身や煮付けなどにして、皆さんでおいしく食べたそうです。

英語を身近に感じよう

古城幼稚園「わくわくイングリッシュ」開講

古城幼稚園は5月10日、幼少期教育の一環として「わくわくイングリッシュ」を開講しました。英語を使った授業のわくわくイングリッシュは、幼少期から英語に親しみを持ってもらうことを目的として行われています。

ＡＬＴのアンディー先生が来るのを楽しみにしていた園児たちは、始まる前から先生の名前を呼んで待ち切れない様子。授業では歌を歌ったり、英語でじゃんけんをしたりして体を動かし、楽しく学びました。